

2023年2月20日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行
三菱 UFJ 信託銀行株式会社

**環境省 第4回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（環境大臣賞）
「間接金融部門」金賞、「投資家部門（アセットマネージャー部門）」銀賞の受賞について**

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 三菱 UFJ 銀行）は、本日発表された第4回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン^[1]（環境大臣賞）において、間接金融部門で2年連続となる金賞を受賞し、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖^{ながしま いわお}、以下 三菱 UFJ 信託銀行）は投資家部門（アセットマネージャー部門）で銀賞を受賞いたしました。また、MUFG は昨年度に続き、情報開示の充実度で一定基準を満たし、環境サステナブル企業部門で「環境サステナブル企業」に選定されました。



三菱 UFJ 銀行は、グローバルとローカルの両面での活動を通じて、国内外でのトランジションファイナンスの普及に取り組んでおります。海外の先進的な取り組みの日本企業への伝達や、欧州や米州の行政当局に対する日本のトランジションファイナンスの考え方の発信など、ESG に関する国内外の金融市場の発展を牽引する姿勢が評価され、金賞を受賞しました。

三菱 UFJ 信託銀行は、「MUFG AM 責任投資ポリシー」に基づき、運用資産における ESG インテグレーションやエンゲージメント、議決権行使に取り組み、First Sentier Investors と協働して「MUFG ファースト・センチア サステナブル投資研究所」^[2]を設立するなど、資本市場における責任投資の普及に貢献しています。特に、「国内株式インパクト投資ファンド」^[3]は、テーマの幅広さやネガティブインパクトの対応方針が定められている点が評価され、銀賞を受賞しました。

MUFG は自社の存在意義（パーパス）を「世界が進むチカラになる。」と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。MUFG は引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」については以下をご参照下さい。

https://www.env.go.jp/press/press_00506.html

[2] MUFG ファースト・センチア サステナブル投資研究所の設立については以下をご参照下さい。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210511-001_ja.pdf

[3] 国内株式インパクト投資ファンドについては以下をご参照下さい。

https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/220218_1.pdf